

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年5月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694300072
法人名	社会福祉法人 大川福祉会
事業所名	グループホーム ぼだい樹
所在地	鹿児島県南九州市穎娃町別府2796番地1 (電話) 0993-27-4566
自己評価作成日	平成29年4月29日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年5月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

リビングからは開聞岳や大隅半島、天気の良い日は硫黄島や竹島、種子島などの離島も望むことができます。ぼだい樹では一人一人の残された能力を維持できるよう食堂や庭の掃除、洗濯物干しやたたみなど能力に応じて取り組んでおり3年目の方でいまだに維持できている方もいます。地域との繋がりも大切にし、福祉会主催のゲートボール大会や地域合同での避難訓練、納涼大会なども毎年計画、参加していただくなど交流を深めています。また、法人の特徴である法話会や彼岸法要にも希望者の方に参加いただき喜んでいただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームの運営法人は、特別養護老人ホーム・養護老人ホーム及び保育園等の福祉関連事業を幅広く運営している。法人の行事であるゲートボール大会・納涼大会・運動会に多くの地域住民が参加しており、法人全体として地域と一体となった活動が積極的に行われている。設立母体の寺の法要等は知人とホーム利用者との再会・交流の場となっている。
- ・当ホームは養護老人ホームに隣接して建てられ、合同で避難訓練や園芸にも取り組んでいる。日常的に職員間の交流が行われ、相互の協力体制が構築されている。
- ・ホーム内は事務室から職員が目が届きやすいオープンなフロアになっており、車椅子対応の洗面台や脱衣室と繋がったトイレの設置、機械浴用の浴室の確保等、身体機能の変化等に対応できるよう各所に細かい配慮がある。
- ・施設長及び管理者は内外研修受講や資格取得を勧める等、介護技術や知識・ケアの質の向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ぼだい樹独自の理念を玄関に掲示している。年に1度、法人全職員での研修を行い職員へ周知している。	職員で事業所独自の理念を話し合い作成している。玄関に掲示し、施設長を中心に話し合い職員会議で周知を図り、ケアの振り返りを行う等、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ゲートボール大会や納涼大会、花火大会などに参加し交流を行っている。	法人のゲートボール大会・納涼大会・運動会及び地域の夏祭りに参加し住民と、交流している。ボランティア受け入れや保育園園児との相互訪問、住民からの野菜の差し入れ等、地域との交流を日常的に行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方の施設見学を受け入れ年間5件以上の見学がある。パンフレット配布や電話での相談などにも対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>日常の活動内容や外出支援、リスクマネジメントなどの報告を行い会議にて検討、内容を会議録に記載している。</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催している。ヒヤリハット・事故報告を含めたホームの状況報告及び意見交換を実施し、行政や地域の高齢者等の情報を得る機会ともなっている。家族にもホームの状況を理解してもらえよう会議資料等を送付している。行政や地域からの情報はサービスに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議で行事や活動内容を報告し、行政担当の方と互いに意見交換を行っている。また、行政からの通達や要望などにも早急に対応している。</p>	<p>市の担当者とは運営推進会議に参加してもらったり、相談等を行ったり、法人で情報収集等を行う等、日頃から連携を図っている。市主催の研修に参加し情報交換に努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についてのマニュアルを基に勉強会を開催、職員へも周知している。</p>	<p>マニュアルを基に年1回は法人全体の勉強会、ホームで施設長を交えた毎月勉強会を行っている。特にことば遣いについて注意を促している。日中は玄関の施錠をせず隣接の施設職員を含めた目配りに対応し、安全で制限のない生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止についての資料を作成し勉強会などで職員へも周知している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>法人全体研修として毎年、人権擁護についての研修を行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時又は内容改定時、契約内容を書面にて案内、入居者やご家族へ疑問等を訪ね、十分な説明を行ったうえで同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時やケアプラン見直し時に本人や家族の要望、意見を伺う機会を設けている。また、苦情相談窓口案内文を作成、施設に掲示し相談・利用していただくよう公表している。</p>	<p>本人からの要望は、落ち着いた雰囲気の中で会話を通じて意見や思いを聞いている。家族には面会時や担当者会議の際に要望等を聞いて対応に努めている。家族から「本人が落ち着くまで居室のカーテンを閉めて欲しい」との要望を受け、入居当初に配慮したこともある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議に代表者、施設長にも参加いただき職員の意見や提案、要望を伺う機会を設けている。</p>	<p>申し送り時や職員会議・個別面談等を介し、意見や要望を聞くようにしている。業務改善や日用品の購入・きずきの要望等、必要なものは話し合い反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者、施設長が定期的に個人との面談機会を設け資格取得に応じた手当を給料へ反映するなど能力に応じた対応を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月勉強会を開催、職員へ実技の担当を決め資料作成を依頼するなど介護技術や知識の向上に取り組んでいる。また、研修日程日を基に外部研修にも参加できるように希望者を優先に勤務調整している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>隣接施設や同じ法人間の交流、地域で開かれる研修・交流会にも参加し、情報交換を行うなどサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新規入居にあたり事前に本人と面会し不安なことや要望を伺い、安心して生活できるようサービス内容をケアプランに反映している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	新規入居にあたり事前に家族と面会し不安なことや要望を伺い、安心して生活できるようサービス内容をケアプランに反映している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	新規入居にあたり事前に本人・家族と面会し不安なことや要望を伺い、安心して生活できるようサービス内容をケアプランに反映している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備や後片付け、ホールや居室、庭掃除など一人一人の能力を活用しながら共に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	日用品などの購入希望など家族へ相談し面会を兼ね、持参いただいている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	地域の行事を把握し、希望があれば見学に出かけるなど住み慣れた地域との関係づくりに努めている。	家族の協力を得て美容室や墓参り・外食・葬儀等で外出したり、職員と法要に参加して知人と交流する機会を設ける等、これまでの生活や関係を継続できるよう支援している。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	お茶やレク、カラオケ、散歩など一緒に関われる時間を設け参加を呼び掛けている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	退居後も新たな施設での生活の様子など電話や訪問を行い本人や現場スタッフに伺っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にサービス内容を見直し思いや要望を伺っている。また、困難な方に対しては今何が必要かをスタッフ間で話し合いプランへ反映している。	日々の関わりの中で声をかけ、思いや要望の把握に努めている。担当者制である。申し送りノートを活用し、入所者の情報の共有を図っている。困難な場合は家族を通し、本人本位で検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や親族、本人から得た情報を基本情報にまとめケース記録へ綴っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活状況を申し送りノートやケース記録に記載し変化があったことなど職員会議で報告し情報把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議で危険性のある内容はリスクマネジメントとして報告し職員の意見を伺いながら危険防止に努めている。また、機能・能力の変化が見られるときは都度サービス担当者会議を開催し家族や本人の意見を反映したプランを作成している。	事前に把握した本人・家族の要望等を基に職員会議で検討し、介護計画を作成している。3ヶ月に1回のモニタリングを実施し、年1回及び状況変化時に計画の修正を行い、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常の変化や気づきなど申し送りノートに記入、全職員目を通すよう情報共有に努めている。また、生活状況などはケース記録に記入している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>情報の変化に伴い都度サービス内容を見直しケアプランを変更している。また、機能が著しく低下したときなど身体状況に適したサービス事業所の紹介を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源を把握し、住み慣れた地域との関係づくりに努めている（避難訓練やゲートボール大会・納涼祭など）</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望される主治医のもと定期的に受診を行っている。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医となっている。定期受診は職員が対応し、他の受診は家族が支援している。1週間に1回訪問診療を受けられる支援が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気になった事や体調の変化など同法人の看護師へ連絡し適切なアドバイスを得ている。また定期受診も付き添えるよう日程を調整し主治医と連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は情報を提供し早期退院に向けて状況確認の連絡を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化したときの指針を定め身体状況に適した施設を紹介するなど家族へ説明し同意を得ている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について、特別養護老人ホームの入所申込も含めて説明し、同意を得ている。状況変化時に主治医より説明後、家族の意向を再度確認し意向に沿って支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>状態急変時の対応マニュアルを作成し職員会議などで周知している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回消防署や地域住民の方にも参加いただき防災訓練を実施している。 (H28・12 H29・3)</p>	<p>隣接の養護老人ホームと合同で、年2回消防署立ち会いの避難訓練を昼夜想定で実施している。消防団や住民の参加協力があり、1回は小学生の参加もある。災害時の備蓄については、隣接施設で食料等の備蓄を一括して保存している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員会議の勉強会や法人全体研修にて周知している。</p>	<p>法人で研修会や勉強会を実施し、一人ひとりをしっかり見つめ、その方の気持ちにあった対応を心がけるようにしている。さん付けの声かけや入室時のノック・排泄・入浴介助は羞恥心に配慮して行う等、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>余暇時間などを利用し個別に声を掛け希望や思いを伺っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>起きてこられた時点で食事を提供している。また、余暇時間など自由に過ごしていただいている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>自分で服が選べるよう種類別にダンスに仕分け、取りやすくしている。また、重ね着されていても否定せず受け入れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	事前に本人の嗜好を確認し、苦手な食べ物は栄養士に相談し他の物に代えて提供している。また、テーブル拭き、お盆拭きなど能力に応じた活動に取り組んでいる。	入居時に嗜好調査をして、食事を提供している。厨房からの配食を受け、ホームで個々に応じた食事形態で盛りつけて提供し、利用者はお盆ふき等を個々の力量に応じて実施している。行事食や外食・手作りおやつ・誕生日に希望の1品を付ける等の楽しみも工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるバランスのとれた食事を提供し、食事量なども随時記録、ご飯の量も希望で調整している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後うがいや歯磨きの声掛けを行い、自分でできない方は介助にて口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	失禁のある方の排泄記録を摂り時間で声掛けや誘導を行っている。日中失禁の少ない方は起床時パンツに交換している。	排泄パターンを把握し、トイレ誘導や声かけでトイレでの排泄を支援している。日中の失禁が少ない場合はトレーニングパンツにする事もある。トイレ排泄を目標にしている。日中は声掛け、誘導を行い、トイレ排泄を目標にしている。日中は声掛け、誘導を行い、	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方は水分強化を行い、改善が見られないときは主治医へ相談、指示を得ている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回入浴できるよう声掛けを行い午前・午後入りたい時間に入浴を提供している。拒否がある方は清拭や足浴などを行っている。	週3回入浴を好きな時間に楽しんでいる。入浴日以外でも午後入浴は可能であり、保清のシャワー浴はその都度実施している。嫌がる場合は無理強いせず、様子を見て声かけしたり清拭等を行うこともある。希望があれば同性介助も対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	余暇時間は個人個人居室やソファなどで過ごされている。就寝時暗くないと眠れない方は全消灯するなど配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報を1冊にまとめ、職員全員が目を通すよう申し送っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>テレビやCD、マッサージ機、マイクロ電気、ランニングマシンなど希望に応じて提供している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日は随時庭に出て施設周辺を散歩している。また、毎月ドライブや買い物など外出機会を設けたり地域の行事などにも参加している。</p>	<p>公園散策や散歩・ドライブ・買い物・花見・外食・法要出席等、あらゆる機会をとらえ、戸外に出かける支援をしている。本人の希望を確認し、墓参りや自宅への外出等、家族の協力を得た支援も積極的にしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族より小遣いを預かり購入希望があれば買い物に出かけ日用品など購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の希望があれば家族へ同意を得たうえで電話をかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設建設の経験豊富な設計業者、建設業者と話し合い設計しており利用者にとっても快適に過ごせる空間となっている。	リビングは、キッチンや事務室共に壁や仕切りがなく開放感がある。十分な採光と室温等が適切に調節され、日当たりもよく、騒音や不快臭もなく、開聞岳が見え、朝日に手を合わせている利用者もいる。仏壇のある畳スペースや機能訓練機器も設置している。テーブルが3個あり、好きなテーブルでお茶やレクリエーションを行い、自由にくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同スペースにソファを設け自由にくつろげるよう配慮している。また、気の合う方どうしテーブルが一緒になるよう相性なども考慮し調整している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、家族や本人と相談しながらベッドやタンス、ソファの配置を行っている。使い慣れた家具など希望があれば持ち込んでいる。	居室はベッド・タンス・ソファ・車椅子対応の洗面台が設置されている。掃き出し戸からベランダに出られ開放感がある。寝具はリースで清潔に保たれ、本人の好みでテレビ・ラジオを持ち込んだり写真や花鉢を飾り居心地良く過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホールや廊下、居室入口など至るところに手すりを設け、安全に移動できるよう配慮し余暇時間には歩行運動なども行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない